

## 巻頭言

本誌は2012年に創刊された「恵寿総合病院医学雑誌」の第9巻にあたります。本巻には原著8編、症例報告2編が掲載されています。介護老人保健施設の投薬コスト，尿路感染分離菌頻度と大腸菌の薬剤耐性，リアルタイム経直腸超音波を用いた尿道狭窄拡張術，ERAS®前立腺全摘除術におけるバリエーション分析と急性期期間の判定，泌尿器科手術におけるERAS®の評価，上部尿管結石に対する対外衝撃波結石破碎術，低線量CTを用いた尿管結石診断，回復の質スコアを用いた術後回復強化プロトコール泌尿器手術の評価，憩室穿孔ミノサイクリン注入した女性尿道憩室の一例，在宅呼吸リハビリを行った筋萎縮性側索硬化症の一例です。通常業務に加え，新型コロナ対応業務を行いながらの執筆作業には執筆者はもちろん，執筆協力者にも多大な労力があつたと思います。当事者には後々，頑張った苦勞は必ず報われるはずで

す。本巻頭言執筆は2021年(令和3年)3月2日です。前巻巻頭言には“新型コロナウイルス感染(COVID-19)が流行しており，国内感染者が500例を突破しました。潜伏期が長いこと，簡易検査キットがないこと，若者などの無症状感染者が感染源となるらしいことなどが，この感染症克服を困難にしています。(中略)職員の出勤前体温チェック，37.5度以上の発熱があれば出勤停止，外部訪問者来訪禁止などの管理体制を整えたりしています”と記載しました。あれから1年経過しましたが，現在も対応は原則同じです。今後ワクチン接種が撲滅に向けての大きな一歩となると思いますが，ようやく医療従事者，高齢者などから接種が始まります。

国内で最初に使用する新型コロナウイルスに対するワクチンはファイザー社製のmRNAワクチンです。このmRNAワクチンは初めて臨床使用される画期的なワクチンです。新型コロナウイルス撲滅のために世界中の研究者が血眼になって開発したのですが，実は何十年も前から研究されてきました。これまでの地道な研究があつて，わずか1年足らずで臨床応用が可能となりました。地道な研究が大事だという事例です。当院でも多くの研究がなされることを期待しますが，今回は泌尿器科関係の発表がほとんどを占めており，他分野での研究発表が増えることを期待します。

最後に第9巻の発刊を祝するとともに，第9巻発刊に際し，大変なご苦勞をされた川村編集長と長浦編集補佐に御礼申し上げます。

2021年3月吉日

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院  
病院長 鎌田 徹